

海上自衛隊練習艦隊の当地寄港

7月21日(金)から24日(月)、眞鍋司令官率いる練習艦「かしま」及び「護衛艦」は、るさめから成る自衛隊練習艦隊が580人の乗員を乗せて、エバーグレーズ港に寄港しました。

海上自衛隊の遠洋練習航海は、(海上自衛隊幹部候補生学校の一般幹部候補生課程を卒業した)初級幹部に対し、外洋航海を通じて、学校等において修得した知識・技能を実地に修得させるとともに、慣海性をかん養し、幹部自衛官として必要な資質を育成するために実施されているものです。

また、諸外国を訪問することにより、派遣員の国際感覚のかん養に資するとともに友好親善の増進にも寄与しています。

昭和32年以降、毎年、実施しており、平成29年度で61回目となりますが、今回初めてエバーグレーズ港への寄港がありました。

7月21日(金)には入港歓迎式、栄誉礼、艦上昼食会が開催された後、グループに分かれ、米南方軍司令部(SOUTHCOM)訪問、医療研修、火災・防水訓練を行いました。その後、艦上レセプションが行われました。

22日(土)には、海上自衛隊練習艦隊音楽隊と米国海軍南東部音楽隊との合同コンサートがデルレイビーチ市の森上博物館・日本庭園で開催されました。

また、23日(日)には、フォートローダーデール・ヨットクラブにて、地元主催のレセプションが開催されました。

練習艦隊は、当地政府関係者、軍関係者はもとより市民の皆様から温かい歓迎を受けました。今次当地訪問は、日米同盟への理解を深める良い機会となりました。

